

地域ネットワークニュース

～8月の勉強会のお知らせ & 7月の勉強会報告～

第142回地域ネットワーク勉強会

8月21日(金) 19:00～
保健・福祉会館 研修室

発達障害児の理解とサポート

～一人ひとりの発達に応じた支援とは～

講師：上岡勇二氏（茨城県発達障害者支援センター）

木島新也氏（NPO法人ユーアンドアイ「児童デイサービス「ぱれっと」」）



発達障害を抱える子どもたちへの支援は、その子がどういう状況にあって、何が必要なのか、を理解することから始まります。できないことに注視するより、今できることを認め、子ども自身の成長を信じるのが子どもを勇気づけます。

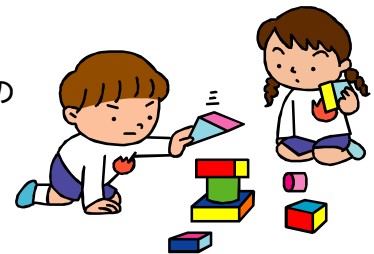
落ち着きがない、友達と一緒に遊ぼうとしない、先生の指示に従えない、乱暴な子...など保育園や幼稚園などの集団の場面では様々な子どもの様子が見受けられます。このような行動を「問題行動」「わがまま」と決めつけず、「何か求めているのかな」「困っているのかな」と、子どもの気持ちを考え、寄り添う姿勢で関わることは、障害がある・ないに関わらず、子どもの育ちに大きく影響されます。

そこで、一人ひとりの発達に目を向け、子どもの行動を多面的に捉えるために必要な視点と、子どもの将来を見据えて支援することの大切さを、集団場面での支援を中心にお話し頂きます。

子どもが将来、自信を持って地域で生活できるように、それぞれの立場で、「今、できること」を一緒に考えましょう。

保育園・幼稚園の保育者、学校関係者は必見です。

ご参加をお待ちしております。



第141回地域ネットワーク勉強会 報告 平成21年7月2日開催 <参加者57名>

成年後見制度の活用と

成年後見人等の役割について

【阿見町社会福祉協議会 小林慎二氏】

権利擁護センター「ばあとなあ」登録（社会福祉士/精神保健福祉士）



第141回地域ネットワーク勉強会は、日常生活自立支援事業の生活支援員を対象とした研修会と合同というスタイルで開催しました。講師の小林氏は、茨城県社会福祉士会ばあとなあに所属し、第三者後見人として活躍されている方で、日常生活自立支援事業の現状や経緯、制度の内容などを、これまでの経験を基にお話し頂きました。

終了後に実施したアンケートには、『権利擁護事業 成年後見制度について再確認出来て良かった』、『難しい内容を分かりやすく説明していただけてとても助かりました』、『制度を必要としている方へ、きちんと情報提供できるようにしていきたい』等、たくさんの感想をいただくことが出来ました。

お問い合わせ：0299-93-0294 神栖市社会福祉協議会 三浦・飯田